



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第33号

令和7年1月24日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 第2回 学校保健委員会(2年生 思春期講座)

17日(金)には、いなべ総合病院産婦人科の川村真奈美先生をお招きして「第2回 学校保健委員会」、そして2年生の生徒を対象にした「思春期講座」を同時に開催しました。

川村先生は、今年で4回目の来校になりますが、その時々の中での状況も交えつつ、毎年少しずつリニューアルをして、「性」に関するさまざまな題材について「人権尊重」の視点からお話をいただきました。今回の講座でも、まずは「性交(SEX)」に関する基礎的な知識、そして性交の目的や問題点、さらに「性」による不平等やLGBTQ+に関する話、避妊、性感染症の予防、男性の「性」に関する悩みや知識など、2時間ではとても足りない内容について話をさせていただくことができ、子どもたちにとって貴重な学びの機会となりました。授業の中では、学年の先生方も「デートDV」に関する寸劇を演じるなどして協力する場面もあり、リアルな演技に子どもたちも釘付けになっていました。



「学校保健委員会」に参加をしていただいた保護者には、終了後に感想を記入していただきました。以下に紹介をさせていただきますので、ぜひご一読ください。お忙しい中わざわざご参会いただき(会の途中ではインタビューにもお答えいただき)ありがとうございました。

【学校保健委員会の感想より】

- ・ とても大切な内容であり、正しく学ぶべきもの。これは全学年聞くべきだと思うので、毎年受講させてほしい(繰り返し教育することが大切)。(内容に対して)時間が足りないと感じました。
- ・ とても良い話が聞けました。子どもと家で話したいと思います。小学校5～6年生のうちから、このような話が聞けたらよいのかなと思いました。今の子は何でも早いので。
- ・ 私は保育園で乳幼児と関わっていますが、乳幼児期からの性教育が大事だと言われています。中学2年生でこの情報に触れることはとても良いことですが、もっと小さいころから、子どもの人権について、性について、関わっていく必要があったなと思っています。ぜひ、1年生から3年連続で同じ話を聞いてほしいです!!

コロナ禍で講師に来ていただけなかった令和2年度を除いて、私が佐織中学校に赴任してからの6年間で5回「性教育は人権教育」というねらいで「2年生 思春期講座」を開催してきました。上記の感想にもあるように「毎年」「繰り返し」このような学びを積み重ねることが大切だという思いから、本校では全学年で「性」

や「いのち」に関する授業を系統的に実施するよう計画をしています。今年度計画をした「性」や「いのち」に関する授業は今回の「2年生 思春期講座」で全て完了となりますが、今年度はご参観いただけなかった保護者の皆様も、ぜひ来年度以降に「性」や「いのち」に関する授業をご参観いただき、ご家庭でお子様と話をするきっかけにさせていただけたらと思います。

♪ 1週間の始まり

20日(月)の朝は「全校朝礼」から始まりました。伝達表彰では、「あいさいさん給食コンクール」最優秀の表彰と、18日(土)に東海市で開催された「愛知県アンサンブルコンテスト」に出場した打楽器五重奏が金賞を受賞し県代表として2月に開催される東海大会に出場することになった表彰を披露しました。県代表になった5人には、少しだけでしたが全校生徒の前でインタビューにも答えてもらいました。

その後には私から、2月10日(月)に国府宮で開催される「はだか祭り」について概要を説明しつつ、2月4日(火)に愛西市役所佐織支所を会場に開催される「大鏡餅つき会」に、2年生が地域活動への協力の一環として参加することを連絡しました。自分自身や周りの人の幸せを願いつつ、前向きに参加をしてもらえたら嬉しく思います。

毎回恒例の「先生からのお話」は、今回は横井先生と門脇先生にお話をしてもらいました。横井先生からは、ご自身の中学校生活を題材に「今を大切に生きる」ことについて、門脇先生からはご家庭でのお子様との会話をきっかけに、世の中で近年頻繁に使われている「やばい」という口語表現について思うことを話していただきました。先生方のお話の後には、生徒会長から12月に開催された「生徒会サミット」について報告がありました。



朝礼が終わった後の教室では、今年度6回目(最終)になる「生活アンケート」を全生徒対象に実施しました。今回は記名式のため、内容で気になる点がある生徒には二者懇談などをしながら、状況によってはご家庭とも連携をしつつ相談・対応を進めています。

またこの日は、2年生に私から話をさせてもらう機会も設けてもらいました。これからの佐織中を背負って

いく学校のリーダーに考えてもらいたい以下の3点(①「思いやり」の大切さ ②「傍観者」について ③「よい社会」をつくる思い)について話をしました。こういった機会を通じて、よりたくましい「チーム」「リーダー」に2年生が成長してくれることを願っています。



こんな始まりで迎えた今週、日々がんばっている3年生は、22日(水)から今日まで私立高校・専修学校の一般入試に取り組んだり、いよいよ来月に迫った公立高校の受検校を決める「三者懇談」に今日から3日間の日程で取り組んだりしています。各学年・生徒が、それぞれの立場で自分のやるべきことにきちんと向き合い、周りの人を思いやりながら毎日を過ごすことが「多様な『幸せ』実現」につながることを自覚して、「当たり前前日常」を大切に積み重ねてほしいと思います。